

僕らは生まれ
変わってもまた

「泌尿器科医
になる

最高峰の医師を
目指す理由



大宮エヴァグリーンクリニック

東京泌尿器科クリニック上野

池袋消化器内科・泌尿器科クリニック

理事長・院長

伊勢呂哲也

東京慈恵会医科大学附属柏病院

准教授・泌尿器科診療部長

三木淳

自らを知ること、すべての知恵の始まりである。

アリストテレス

はじめに

本書を手にとったあなたは、現在、医師として医療に従事されている方でしょうか？
あるいは医学生でしょうか？ 医学部を目指す高校生でしょうか？

さまざまな方がいると思いますが、では、伺います。

あなたは泌尿器科にかかったことはありませんか？

多くの方は、かかったことがないかもしれません。おそらくそれは、病気の内容的に、まだ少し年齢を重ねないとお世話になる機会がないからだと思います。

現在、日本では高齢化が進むとともに、前立腺がんの患者さんが急増しています。前立腺がんは、泌尿器科が担当する疾病です。間違いなく近い将来、泌尿器科医は全診療科の中でも、とても重要な役割を担う医師になるはずです。

……ところが、これまではどちらかというと、泌尿器科は「マイナーな診療科」と

いう扱いを受けてきました。現在、医療施設に従事する全医師数である31万1963人のうち、泌尿器科医はたった7422人。2・4%です（「医師・歯科医師・薬剤師統計」…厚生労働省、2018年）。

医師数が少ないのと同時に、若年層に身近な科ではないからこそ、あらゆる誤解で塗り固められているところがあります。誤解を招いている理由のひとつは「泌尿器科」という名前にあるのでしょうか。「尿」という漢字から「排泄物＝汚い」というマイナスなイメージを抱かれていることが多いのも否定できません。

私は泌尿器科医になり、病院勤務を経て、現在、大宮と上野に泌尿器科を標榜するクリニックスを経営しており、2022年には池袋に3つ目のクリニックスを開業。年間、約3万人の患者さんを診察すると同時に、承継開業を支援するアドバイスもしていますが、ここまでのキャリアで心から実感することは、

泌尿器科ほど魅力的な診療科はない！

ということです。

泌尿器科に魅せられ、泌尿器科を愛する私にとって、いわれのない偏見や誤解を解

きたい、というのがありますが、私はそれ以上に、泌尿器科の本当の魅力をもっと多くの方々に知ってもらいたい。そういう思いで本書を上梓しました。

本文中で詳しく見ていきますが、知れば知るほど、泌尿器科が魅力的な診療科であることがわかりただけだと思います。たとえば、これから専門医としての進路を決めようとする研修医なら「泌尿器科? ……うーん、考えてなかったな」と思っている方が、きつと大勢いると思います。そんな方でも、本書を読み終えたときには、将来の選択肢のひとつとして、泌尿器科が必ず加わっているはずですよ。

このように多くの人々が、今よりもっと泌尿器科のことを知り、正しく理解することができれば、日本の医療にも大きく貢献できるはず。そう願ってやみません。

本書を執筆するにあたり、私がかねてからお世話になっており、尊敬している、東京慈恵会医科大学附属柏病院准教授・診療部長の三木淳先生に相談しました。三木先生は泌尿器科医の中では、腹腔鏡手術の第一人者であり、学会でもたいへん著名な先生です。私が泌尿器科医への熱い思いを深めたのも、先生の影響が大きいと思います。ちょうど私が東京泌尿器科クリニック上野の開業に向けて物件を探しているとき、上野駅でばったり先生とお会いしたことに、何かご縁のようなものを感じます。

今回、本書を上梓する意図を三木先生にご説明したところ、非常に共感していただき、本書の執筆に全面的にご協力いただきました。この場を借りて、心より御礼申し上げます。

本書は、全5章で構成されています。

第1章では、泌尿器科の真実を見ていただきます。さまざまな誤解や、知られざる特長を一つひとつ、具体的に解説していきます。

第2章では、泌尿器科医がどういう仕事をし、どういう生活を送っているのか、診療日の仕事ぶりや休日の過ごし方を写真を交えてご覧いただけます。

第3章では、泌尿器科医となったこれまでのキャリアパスについて語っています。進路の選び方、どういう思いで泌尿器科を選んだのかを理解していただけるかと思えます。

第4章では、泌尿器科医として体験した心に残るエピソードを紹介します。なお、第2章から第4章までは、開業医である私と、大学准教授である三木先生、それぞれの特徴を見ていただければと思います。

第5章では、尊敬する三木先生とあらためて対談させていただきました。先生との出会い、現在の泌尿器科における課題、そしてこれからの夢を語り合いました。

本書をお読みいただき、日本の泌尿器科の認知度が向上し、泌尿器科医の希望者が増えることで、これからますます増加するであろう多くの患者さんにとって、よりよい未来がくることを願っています。

2022年2月

大宮エヴァグリーンクリニック

東京泌尿器科クリニック上野

池袋消化器内科・泌尿器科クリニック

理事長・院長 伊勢呂哲也

『僕は生まれ変わってもまた「泌尿器科医」になる——最高峰の医師を目指す理由』目次

はじめに……………3

第1章 そうだったのか！

私が泌尿器科医をイチオシする理由

外から見たイメージと実際とのギャップ……………	17
誤解を招いているのはなぜ？……………	19
実は勤務医の満足度も高い……………	23
どんな病気を診る？……………	26
男性の患者が多い？……………	30
前立腺がん、膀胱がんが今後日本で増える……………	35

海外では人気の高い外科系診療科である	41
外科的な面と内科的な面の両方を併せ持つ	45
多彩な治療があり面白みがある	48
必要とされているのに人数が少ない	53
開業にも適している	57
ワークライフバランス的に優れている	59
ほかの診療科との人脈が作りやすい	62
大学病院と開業医の違い	67
第2章 密着、泌尿器科医の1日	
開業医の場合 伊勢呂哲也	73
診察のある日(平日)	73

休診日 77

大学病院勤務医の場合 三木淳 80

手術のある日 80

外来日 83

休日 85

完全オフの日 86

第3章 泌尿器科医のキャリアパス

伊勢呂哲也のキャリアパス 89

公務員の家庭に育つ 89

ゼロから生み出す仕事は得意じゃない 91

留学でアメリカの医師を知る 93

医学部時代	95
「ポリクリ」が始まる	98
研修医として	101
「外科手術、結構楽しいかも」	102
最終的に泌尿器科に決めた理由	104
自分が学んだことが患者さんの未来につながる	105
三木淳のキャリアパス	108
医師になったきっかけ	108
医学部時代	110
泌尿器科を選んだ理由	111
大学准教授としての道	113
人を育てることは重要な仕事	115
泌尿器科に興味を持ってもらいたい！	116

キャリアに関するアドバイス……………119

開業に勝つ未来は？……………121

本当の「医療連携」とは……………122

第4章 忘れられない

泌尿器科医ストーリー

伊勢呂哲也 エピソード1

患者さんと退院後に再会して感じた喜びと後悔……………129

伊勢呂哲也 エピソード2

「先生に診て欲しいんだ」と言ってくれた患者さん……………133

三木淳 エピソード1

私が患者さんに、事実を正直に伝える理由……………139

三木淳 エピソード2

もっともっと腕を上げ、患者さんを救いたい……………147

第5章 対談 三木淳×伊勢呂哲也

「生まれ変わっても泌尿器科医！」

実際に手術をさせてもらったことがきっかけに……………157

「人気の泌尿器科」にするために……………164

泌尿器科開業は使命感のある仕事……………179

